GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2008.11/1
Vol. 5

ガバナー月信

2008～2009年度 国際ロータリー第2650地区テーマ「次の世代にときめきを」

Make Dreams Real

目次● CONTENTS

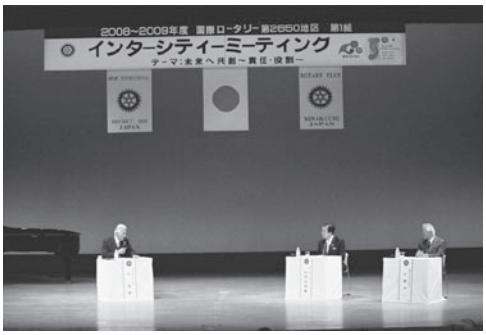
IM 開催報告……2
11 月の月間テーマ……3- 7
フィジー諸島・国際医療奉仕事業
ミッション参加のお願い……3
9 月の会員の動き……7
9 月会員数の増減および出席率表……8

「職業人としての自覚」　～真の職業奉仕とは～

第１組 インターシティミーティング開催報告

2008 年 9 月 6 日　於：あいこうか市民ホール

ホスト　滋賀・水口ロータリークラブ



元 R1 理事・パストガバナーの千玄室ゼネラルリーダーのもと、水口ロータリークラブをホストとして、第 1 組 IM を滋賀県甲賀市水口町の「あいこうか市民ホール」で開催、前日まで雨天続きでしたが、当日は一転好天に恵まれ、『未来へ共創 ~ 責任・役割 ~』をテーマに掲げ、滋賀県下の 22RC と特別参加の福井東 RC 合わせた 622 名の参加登録をいただきました。

式典後の、千ゼネラルリーダーの基調講演におきましては、ロータリアンの活動の基となる職業倫理・職業奉仕について多岐にわたりその歴史、変遷、現状について熱き想いを語っていただきました。

これを受けて、コーディネーターの千ゼネラルリーダー、水口 RC の大橋パスト会長との鼎談に参加させていただき、それぞれの職業奉仕についての想い、考えや経験について、活発な議論をさせていただきました。鼎談の途中、千コーディネーターの指名により会場にご列席のパストガバナーからも様々なご意見をお伺いすることができました。

「職業」の 2 文字を、深く、重く受け止めた一日となりましたが、参加された会員の皆様にとっても、今年度の地区テーマ「次の世代にときめきを」を実現するため、我々ロータリアンが持つべき「職業人としての自覚・誇り」について考える良い機会となったことでしょう。

また、基調講演、鼎談を通じて、IM の持つ「研修」としての一面が前面に出され、特に若いメンバーの皆様には、具体的で解りやすいお話を通じて、ロータリーの本質が理解していただけたことと思います。

最後に、設営にご尽力いただきました水口 RC の皆様に感謝致します。

尚、次期ホストクラブは東近江 RC に決定しました。

川 端 五兵衛

「ロータリー財団月間を迎えるにあたって」

RI2650 地区パストガバナー
地区ロータリー財団諮問委員
地区ロータリー財団
委員長　宮 﨑 茂 和
（福井 RC）

今、この時にも世界のどこかでポリオワクチンの投与が国際ロータリー (RI) 及びロータリー財団 (TRF) によって敢然として行なわれています。慈愛と寛容と忍耐、これこそロータリーの神髄であるからです。

ロータリーの奉仕の概念から TRF という 1 つの大きな存在を失ったら、矢張り RI は 100 年以上の歴史を維持できなかったのではないかと思います。したがって私達ロータリアンの責務の一つに TRF への参加と貢献は欠かすことが出来ないことになります。

TRF における財団委員会は 8 つの小委員会から構成されます。

1. 年次寄付　2. 恒久基金　3. 財団奨学金　4. 財団学友
5. 財団補助金　6.GSE　7. 世界平和フェローシップ
8. ポリオプラス　　の小委員会です。

2650 地区では

イ．年次寄付・恒久基金委員会 :1+2(大口、使途指定寄付を含む)
ロ．財団奨学金・学友委員会 :3+4+7
ハ．GSE 委員会 :6
ニ．財団補助金委員会 :5+8

の 4 つの小委員会でこれを担当し、活躍しています。各小委員会については夫々の委員長から報告があるので省略します。

2007 年 RI の規定審議会 (3 年に 1 回開催される RI の議会。全世界から約 530 名が参加する) には 2650 地区の代表議員として 2004 年に引き続き私が出席しました。その審議の中で「決議案 07-68: ポリオ撲滅を国際ロータリーの最優先の目標であることを承認し、確認する件」が RI 理事会からプロポーザルされ 463:36、即ち賛成 93% で可決されました。

ポリオの野生ウィルスは 1985 年 135 カ国で猛威をふるっていましたが、今ではインド・ナイジェリア・アフガニスタン・パキスタンの 4 カ国で発生しているのみとなり 99% 以上は撲滅されています。ロータリーの悲願である“ポリオ撲滅”は私達ロータリアンとして Service above Self そのものであり、最優先の課題となり責務となりました。地区ロータリー財団委員会 (DRFC) でも 4 つの委員会を中心にポリオ撲滅を常に念頭におきながら教育的プログラム及び人道的プログラムを邁進していく所存です。

このような世界の理解と親善と平和と言うロータリーとしての命題の実現に 1 つ 1 つの小さい奉仕が必要であることを会員の皆さんと一緒に学び実現すべき (Make Dreams Real) であり、また DRFC はそのための色々なご意見を聞きながらアドバイスさせて頂きたいと思います。4 委員会を宜しくお願いします。

フィジー諸島・国際医療奉仕事業ミッション参加のお願い

世界社会奉仕委員長　平田 好祐

INSPIRING DREAM FOR NEXT GENERATION “To Republic of the Fiji Islands”

次の世代にときめきを「フィジー諸島共和国へ」

期間 :2009 年 1 月 24 日 (土)~1 月 31 日 (土)

今回のミッションでは、フィジー諸島ナンディ地域を中心にしたポリオの投与、世界遺産登録候補地であるプレカ島での小学校教育支援の子供達との交流、感染症医療廃棄物“インシュナレータ・ソーラーパワーシステム”設置支援事業を行います。

“フィジー諸島共和国の次の世代にときめきを”を合言葉に今回のミッションへの多くのご参加をお待ちしております。(定員 60 名)

◆　申込締切 : 平成 20 年 11 月 10 日 (月)
◆　説 明 会 : 平成 20 年 12 月 21 日 (日曜日) 午後 1 時 ホテル京阪京都

旅行代金等詳細については、各クラブに募集要項をお送りしていますのでご参照下さい。

主催 : 国際ロータリー第 2650 地区世界社会奉仕委員会

「ロータリー財団と地球を肌で感じよう」

財団年次寄付・財団恒久基金委員会
委員長　西 川 竣 治
（びわ湖八幡 RC）

11 月はロータリー月間です。世界中のロータリアンがさまざまな活動を行い、財団のすばらしさを認識し、重要性を自覚すると共に会員皆様のご理解とご協力を得て寄付の推進をお願いいたしております。

ロータリー財団はロータリーの原動力の役割を担っております。その原動力によってさまざまなプログラムが遂行しております。

人道的補助金、教育的国際親善奨学金、ポリオプラス、世界平和フェローシップ、GSE 等を支えております。

世界中のロータリアン 1 人 1 人の友情と善意と好意によって支えられているのです。国際ロータリーの目標である Every Rotarian Every year(毎年あなたも 100 ドルを) を目標にしています。どんなすばらしいプログラムでも財源がなければ絵に書いた餅です。1 つでも多くのプログラムを実現していくために第 2650 地区では、RI の 100 ドルに善意をプラス 60 ドルとして年次寄付 160 ドルを善意と友情の目標とします。どうか会員様のご協力をお願いするものです。

1917 年 RI 会長アーチ C クラクラントにより基金としてロータリー財団が創設されました。最初は 26 ドル 50 セントでした。それが創設以来財団の寄付金総額が米貨 11 億を超え、世界中のロータリアンの財団に対するご理解の深さを示しております。

8 月 2 日にロータリー財団研修セミナーが、川端ガバナーの企画により新しい企画で行われました。単なる寄付をする、また人に頼られたから寄付するのではなく、何の為に誰の為にしているのか、また寄付したものがどのように使われるのかを研修しました。このことを通して、自分達自身で財団のいろはを勉強して、財団の必要性と重要性を自分の肌で感じ、財団へのご理解と汗をかく喜びを感じて頂きました。

私達の仕事は会員皆様の善意と友情により、ロータリー財団運営のための資金をお願いする委員会です。私達も汗をかきます。どうか会員様の熱い友情と熱意と善意を宜しくお願い致します。

それで 9 つの寄付メニューが御座います。どうかご協力を宜しくお願い致します。

(1)　年次寄付 (ロータリー財団ときめき袋)

あなたの使命と善意を次の世代のときめきに会員一人当たり目標 100 ドルに 60 ドルプラスを目指してほしいです。

年次寄付 160 ドル以上会員全員が達成したクラブにはガバナー特別賞が頂けます。

(2)　ポールハリス・ソサエティ

ロータリー財団に毎年 1000 ドル以上 (年次寄付と使途指定寄付) の合計を寄付する人が会員資格を有します。

(3)　EREY クラブ (Every Rotarian Every year)(毎年あなたも 100 ドルを)RI ロータリー財団年次寄付 (全世界共通) の目標額です。また第 2650 地区での年次寄付は目標 160 ドル以上の基礎の 100 ドルです。60 ドルはプラス【善意】です。

(4)　ポール・ハリス・フェロー

資格米貨 1000 ドルもしくはそれ以上の寄付を年次プログラム基金、または使途指定の資金に対して個人または複数の人々が組んで寄付をした場合、ポール・ハリスメダルセットと個人名入り認証状が頂けます。

(5)　財団恒久基金でベネファクター会員 15 名 ~20 名当　1 名のベネファクター会員をお願い致します。米貨 1000 ドル以上の無条件寄付をロータリー財団の恒久基金へ行なうと、2 回目以上はガバナーの感謝状 (何回目) として受けることが出来ます。

(6)　ロータリー財団遺贈友の会

個人またはご夫婦が米貨 10,000 ドルもしくはそれ以上を恒久基金に充てるべく遺産計画に含め財団にその旨通知する (受取人をロータリー財団と指名してロータリー財団に通知する)

(7)　慈善年金

この年金は恒久基金の一つで年齢 50 歳以上の人 (ロータリーアンとは限りません) が 1 万ドル以上を年金として申し込むと生涯一定利率 (現在計算によると 5% 以上) の年金を受け取ることが出来ます。利率は年齢によって異なります。

(8)　大口寄付

10,000 ドル以上の現金のみで認証ポイントは含まれません。

(9)　ロータリークレジットカード

年会費はシルバーカード無料、ゴールドカードは年会費 10,500 円で利用した全額の 0.3% がカード会社よりロータリー財団へ還元されます。

ご利用宜しくお願い致します。また、ロータリーゴールドの年会費のうち毎年 3,000 円が財団に寄付されます。また、カードポイント還元もされます。シルバーカードでは最高 1.25% のポイントが還元されます。

ロータリーカードの入会とカード使用をお願い致します。

私達の 1 人 1 人の力は小さくて何も出来ないかも知れませんが、全世界のロータリアンの力を結集すれば世界も動かす力となる。その力を待ち望む人達が健康状態の改善や教育への支援を高め貧困の救済等により世界理解と親善、平和を達成する力となるでしょう。

その地域平和も世界平和も全ロータリアン、またそのご家族の皆様の熱い善意と友情と好意をどうか宜しくお願い致します。

善意も友情も好意も決して強制するものではありません。真実を信じて明日に向かって頑張りましょう。

「財団月間によせて」

財団奨学金・財団学友委員会
委員長　小 﨑　学
（京都北 RC）

ロータリー財団月間にあたり、当委員会の役割と国際親善奨学生並びに学友の活動の歴史や今後のあり方について、簡単に解説させていただきます。

ご高承のとおり、ロータリー財団は、1917 年に国際ロータリー 6 代目会長アーチ C. クランフ氏がアトランタ国際大会で、「世界的な基金を作ろう」と提案したことに始まり、1928 年国際大会で「ロータリー財団」と命名されました。その後、2000 年には、その使命の改訂があり、「地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援すること」と決定されました。

そして、その使命を受けた財団奨学金・財団学友委員会の役割は、2650 地区としては 1952 年に宮野成二氏（前福岡大学学長）等 3 名の奨学生を派遣したのが始まりで、現在では 550 名に及ぶ奨学生を輩出している国際親善奨学金プログラムと、2002 年に開始された、紛争の解決と平和における国際問題研究に取り組むための世界平和フェローシッププログラムの運営が大きな位置を占めています。

当委員会の具体的な活動としては、上記二つのプログラムの広報、奨学生及びフェロー派遣のための募集、選考、数度にわたる出発前のオリエンテーションと奨学期間を満了した奨学生の帰国報告会の開催が主たるものとなります。また、同時、に海外から当地区へ派遣された奨学生の受け入れを行います。さらに、帰国奨学生と GSE 団員で構成される学友会活動を支援するともに、11 月の財団月間には、各クラブでのスピーチに学友を派遣します。

また、ポール・ハリス没後 50 周年と財団の教育的プログラム創設 50 周年を記念して開始された世界平和フェローシップは、ロータリー財団が世界各地の定評ある大学と提携し設立した国際問題研究のためのロータリー・センターにおいて、世界平和フェローが戦争、飢餓、貧困、病気の蔓延など、現在国際協力と平和を阻んでいる障害に効果的に取り組むことに焦点を置いているプログラムです。八つの大学、七つのロータリー・センターとして続いてきましたが、パリ政治学院が 2005-2007 年度で終了しましたので、現在は七つの大学、六つのロータリー・センターとなっており、ロータリー・センターごとに約 10 名、合計 60 名までが世界を枠とする競争制で選ばれることになっています。そして、各ロータリー地区は、1 名の候補者を推薦することができます。

一方、国際親善奨学金プログラムは、ロータリー財団が行っている多くのプログラムの中でも最も古く 1947 年に開始され、民間レベルとしては世界最大の規模であり、毎年 800~1,300 名くらいの財団奨学生が世界各地で優れた親善大使として活躍しています。恒例となる 11 月の財団月間には、学友（帰国奨学生）や翌年出発予定の奨学生をクラブの要請に応じて派遣しておりますが、学友たちは奨学期間の自らの体験や成果およびその後の自身の成長や社会への還元を報告し、また、これから出発しようと意欲に燃えている奨学生は奨学期間および人生の抱負を述べ、ロータリアンの皆様から励ましと様々なアドバイスを受け、ロータリアンとのさらなる交流を深める貴重な出会いと学習機会を頂戴しています。このように、奨学生や学友の卓話を通じて、ロータリアンの皆様に対して財団活動に対するご理解をいただけるチャンスを賜り、大変嬉しく思います。

さらに、国際親善奨学生の募集に関しましては、引き続き専門分野における学術研究に高い意欲と見識を兼ね備え、同時にロータリーの国際親善大使としての任務を十二分に遂行できる優秀な奨学生を選考、派遣し、奨学期間終了後にはその成果を社会に還元してゆくよう指導してまいりたいと思います。また、世界平和フェローに関しては、国際問題研究に情熱を注ぐ優秀な応募者が出、その中から 1 名の選出ができるよう積極的に取り組んでまいります。さらに、GSE 団員も加え学友会活動の活性化にも力を入れてまいる所存です。

これからも財団奨学金・財団学友委員会の活動に対して、ロータリアンの皆様のご理解、ご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

「GSE 派遣団選考会を終えて」

2008-9 年度 GSE 委員会
委員長　河 地 妙 美
（京都西南 RC）

先頃、漸く秋の気配につつまれた清々しい秋分の日、午前 10 時から午後 4 時過ぎまで長時間にわたり、2008-9 年度 GSE 派遣団の選考審査試験および結団式を無事終えました。そして本年度も若者らしく意欲的な 28 歳から 37 歳の各々に異なる専門職に従事する青年団を結成するにいたりました。募集に際しては地区の会長幹事様はじめ会員の皆様にはご協力を賜り、謹んでここに心から御礼を申し上げます。委員会といたしましても様々な課題をもって取り組んだ選考会でありました。それだけに反省や今後更なる検討や解決すべき問題が浮き彫りとなりましたが、先ずはその概要をご報告したいと思います。

結論から申し上げますと、憂慮そして今後考慮すべきことは、多数の志願者があったにも拘わらず審査を受けるまでにいたったのは四名に限られたことでした。その約十名の予定者は大方本人の強い希望にもかかわらず、また担当委員が熱心に説明と勧誘を繰り返したにもかかわらず、結局職場で承諾を得ることが出来ずに断念するという非常に残念な事態となりました。このことは恐らく時勢や職種にもよるのでしょうが、広報・宣伝に課題を残しました。

兎も角、本年度の第 7530 地区米国ウエスト・ヴァージニア州への派遣審査合格者は、男女比 1:3 で、内三名は英語圏諸国で 1-2,3 年間の英語教育履修の経験者です。職業分類では、地方公務員、東洋医療、病院栄養士、幼児語学教育で、地方自治、医療（特に統合医療）、健康と食習慣、幼児教育（母子や家庭教育）の専門範囲に及び、いずれも現在日本においてもまたアメリカ他広く諸外国でも社会時事問題となっている分野だけに、今回応募した彼らの動機や目的意識も明瞭で、将来有望な頼もしいグループが結成されたと安堵しています。

ご承知のように GSE（研究グループ交換）プログラムとは、その目的は若き職業人が約一ヶ月間他国に赴き、異文化体験を通して職業視察研修を行い国際化著しい社会や自身の職場、加えて地元地域社会に貢献できる人材育成のための支援を目的としております。ロータリー財団の教育的プログラムの一事業として 1965 年より実施され、これまでに国や地域間において数々の成果を残してきています。また、一世紀という永きに及ぶ国際的な礎を有す（奉仕の理想等）ロータリー精神を、実地体験を通して若人に伝える絶好の機会でもあり、極めてロータリーならではの比類なき自己研鑽の場であるともいえます。その成果については、過去の派遣団員の報告やその後の彼らの社会活動を見聞することでおおよそ納得することができます。さらに新たなロータリー家族を向かえるにあたって、派遣される彼らが受ける約半年に及ぶ事前研修では、ロータリーの世界的使命について学び、ロータリアンである団長のリーダーシップの下に研鑽を積み自負と自覚をもって出発の日を迎えることになります。今回の団長は経験豊かな淡島洋 GSE 委員（福井あじさい RC）が勤めます。団員同様多忙にもかかわらず重責を快く引き受けていただいた団長に対しても皆様からの温かいエールをいただきますよう、どうか宜しくお願い申しあげます。

MAKE DREAMS REAL! 次世代にときめきを！今年度のスローガンにも相応しい GSE プログラムですが、この派遣の実施が真実このようになるには、委員会の一層の努力とロータリアンとして培われた経験と知恵が必要ではないかと考えております。今、かつての派遣団員も恐らくそうであったように、このたびの四人の若者たちは夢と希望に瞳を輝かせています。ただ今日、毎日のように若者の間でおきている様々な悲しい事件や心痛む社会現象を知る私達にとって、この一握りの期待に胸をふくらませている彼らに対してできることは何、何だろうかと、自問しながらも大きな責任責務を感じないわけには参りません。

子どもは未来からの使者だといいます。子供への処遇が国の未来を決すると、私が暮らしていたドイツの町ではよくそのような次世代、次々世代のための政策議論をしたものです。私たち大人には次世代、次々次世代のために今を生きる義務と責任がある。これは至極当たり前のことなのですが、現実を見ればやはり大人のご都合主義のようなところが目立ち、経済の成長のように子供の成長を考え、貨幣価値のように子供の価値を数値化するなど、あまねくものさしが物質的で商品的です。これでは次世代の育成には芽を枯らすようなものです。キャピタルとは資本、資本主義をキャピタリズムといいますが、それをお金ではなく人に置き換えれば、ヒューマン・キャピタル、人材（人的資源）です。これからは過熱しすぎた資本主義よりも、もっと皆が豊かで幸せになれるヒューマン・キャピタリズムで社会の方向を少し変えたいものです。子供たちや若者にはまず夢や希望をもてるような社会であり、そして彼らにはたとえどんな境遇においても高い志を忘れずもってほしいものです。

川端五平衛ガバナーには、結団式で、君たちはこれから下り坂の社会で生きることになるのだから、しっかりそのことを心得て、訪れるアメリカ社会や人々をよーく観てきなさい。そして帰ったら自分で何度もくり返し考えることと、示唆に富んだお話で彼らを叱咤勉励していただきました。セレンディピリティ、これは川端ガバナーの御著書＜まちつくりはノーサイド＞に学んだ言葉ですが“予期せぬ発見”ということです。私は派遣団の皆がそれぞれに精一杯取り組み、必ずやこのセレンディピリティ“ときめき”に出会うであろうことを心から祈念しております。

「財団プログラムに参加を」

財団補助金委員会
委員長　大塚紀夫
（武生府中RC）

ロータリー財団は、私達ロータリアンが資金を出し、そして集まった資金を私達ロータリアン自身の手で世の中に活用すると言う性格のものです。

簡単に言えば「寄付して使う」のがロータリー財団です。寄付をしただけでは値打ちとならないのです。それを自分の手で活かしてはじめてロータリー財団の効果となるのです。

ロータリー財団の資金は、国際財団活動資金（WF）と地区財団活動資金（DDF）に分かれます。

国際財団活動資金（WF）は世界中のロータリアンに活用チャンスがあります。国際財団活動資金（WF）のプログラムとしては、

3－H補助金、ボランティア奉仕活動補助金、マッチング・グラント、世界フェローシップ、GSE、等があります。

この中で一番多く皆さんがプロジェクトを企画提案し、実施されているものは、マッチング・グラントです。

地区財団活動資金（DDF）は、それぞれの地区内のロータリアンに活用のチャンスがあります。

地区財団活動資金（DDF）のプログラムには、

国際親善奨学金、大学教員のための補助金、地区補助金、等があります。

この中で、当地区では、国際親善奨学金への資金活用が一番多額なものとなっております。

又、皆さんがクラブで自由にプロジェクトを立案し申請出来るものとして、地区補助金の活用が近年多くなっております。地区補助金はDDFの20%以内と定められておりまして、活用額に限度がございますが、ぜひ皆さんにおすすめしたいプログラムです。

財団の資金を自らの手で具体的な奉仕の姿に活かしていき、社会のニーズに自らが直接的な責任をもって応えてまいりましょう。

地域レベル、全国レベル、国際レベルの効果的な奉仕プログラムを積極的に推進し、世界中の人々と仲良く幸福になりましょう。

（US＄）

		項　目	2007-08年度	2008-09年度
第2650地区のDDF額	単年度分	3年前の年次寄付実績額の50%	371,047.21	379,668.27
	単年度分	3年前の恒久基金収益の50%	66,723.88	68,328.92
	①	計	437,771.09	447,997.19
	②	直前年度の未使用のDDFの繰越	199,671.27	208,957.70
	③	DDFへの返金、移行、各寄贈等よりプラス、マイナス計算で算出された額	27,295.34	
	Ⓐ	DDF合計額 ①＋②＋③	664,737.70	656,954.89

	項　目	2007-08年度	2008-09年度
DDFの残額	DDF残額 Ⓐ-Ⓑ	208,957.70	415,054.89

	項　目		2007-08年度	2008-09年度
DDFの使用状況	教育的プログラム	奨学金	338,000	161,000
		1年・・	7名@26,000	4名@23,000
		マルチ・・	6名@13,000×2年間	3名@11,5 00×2年間
		G.S.E（DDF使用分）	0	
		大学教員のための補助金	0	
		計	338,000	161,000
	人道的プログラム	地区補助金（個別ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ数）	74,200（13件）	75,900（　）
		マッチング・グラント（提唱者寄付使用分）	18,580（4件）	5,000（1件）（ｱﾌﾘｶﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ寄付者）
		3-H補助金（提唱者寄付使用分）	0	
		計	92,780	80,900
	寄贈	ポリオ・プラス	0	
		ロータリー・センター	25,000	
		ロータリー・センター 冠名基金	0	
		計	25,000	
		Ⓑ　使用合計	455,780.00	241,900.00

（2008年9月現在）

◆新入会員

長浜	北川 鉄樹	商業銀行
京都紫野	内藤　誠	税理士
京都西	河野 幸彦	生命保険
京都西	関崎 泰市	仏具金属工芸
京都さくら	鈴木 隆弥	ウェブ・デザイン
武生	服部 秀一	商工会議所
大津	桐　俊雄	生命保険
大津	廣瀬 邦彦	病院経営
滋賀湖北	上田 泰之	建築請負
滋賀湖北	中村 浩敏	土地開発
京都北東	木下 隆司	ホテル

京都北	小滝　寛	電気設備工事
東近江	山本 長栄	ブラインド製造
京都伏見	吉田 賢二	議員秘書
滋賀湖北	横田　亨	建築資材
奈良大宮	柴田 直三	建築
大津西	植　隆尋	学習塾経営
京都城陽	喜多 浩直	スーパーマーケット
京都城陽	正岡 幹啓	土木建設
京都城陽	平井 一行	人材派遣
大津	坪井 清和	証券貯蓄
宮津	森本 照幸	仏教

福井	鞠子 永雄	損害保険
福井	山川 英昭	電力
福井	清野 博之	住宅建設
長浜東	松居 利彰	土地家屋調査
大津	大道 良夫	銀行
京都	浜田 英敏	事務用品販売
京都	早﨑 一夫	証券会社
京都	東田盛 正治	電信・電話事業
京都	丸森 康史	都市銀行
京都	上田 政行	蓄電器製造

2008年9月会員数の増減および出席率表

京都府 （42クラブ）

クラブ名	8月31日会員数	入会	退会	9月末会員数	期首会員数	入会累計	退会累計	例会数	出席率	女性会員数
綾部	38	0	0	38	39	0	1	4	93.90	0
福知山	60	0	0	60	58	3	1	4	94.45	0
福知山西南	46	0	0	46	46	0	0	5	96.79	1
亀岡	41	0	0	41	40	1	0	3	100.00	0
亀岡中央	17	0	0	17	16	1	0	4	100.00	1
京都	198	5	0	203	194	11	2	4	97.85	0
京都伏見	89	1	1	89	91	1	3	4	86.49	3
京都平安	35	0	0	35	35	0	0	4	59.83	4
京都東	109	0	0	109	109	0	0	4	96.84	0
京都北東	32	1	0	33	32	1	0	4	91.14	0
京都城陽	30	3	0	33	30	3	0	4	97.53	0
京都桂川	36	0	0	36	36	1	1	4	90.05	0
京都北	69	1	0	70	69	1	0	4	98.44	0
京都南	223	0	0	223	223	1	1	4	95.18	0
京都ﾓｰﾆﾝｸﾞ	55	0	0	55	54	1	0	4	78.30	3
京都紫野	61	1	0	62	61	2	0	4	100.00	0
京都中	40	0	0	40	40	0	0	4	100.00	0
京都西	110	2	0	112	110	2	0	4	99.75	0
京都西山	22	0	0	22	22	0	0	4	87.87	0
京都乙訓	35	0	0	35	35	0	0	3	95.83	0
京都洛中	78	0	0	78	78	1	1	4	96.08	0
京都洛北	71	0	0	71	69	2	0	4	96.22	0
京都洛南	38	0	0	38	38	0	0	4	97.93	1
京都洛西	50	0	0	50	50	0	0	4	94.47	4
京都洛東	38	0	0	38	38	0	0	4	88.82	0
京都さくら	31	1	0	32	31	1	0	4	94.46	5
京都嵯峨野	27	0	0	27	27	0	0	4	80.77	0
京都西北	51	0	0	51	50	1	0	4	92.78	0
京都西南	60	0	1	59	61	0	2	4	96.20	8
京都紫竹	47	0	0	47	47	0	0	4	76.68	2
京都朱雀	42	0	0	42	42	0	0	4	89.60	1
京都田辺	24	0	0	24	24	0	0	3	91.55	2
京都東山	82	0	2	80	81	1	2	4	96.76	0
京都山城	40	0	0	40	41	0	1	3	97.25	0
京都八幡	30	0	1	29	30	0	1	4	81.16	1
舞鶴	30	0	1	29	30	0	1	3	96.43	0
舞鶴東	49	0	0	49	48	1	0	4	81.88	0
峰山	39	0	0	39	38	1	0	4	82.02	2
宮津	48	1	0	49	48	3	0	4	95.11	0
園部	30	0	0	30	30	0	0	4	99.07	0
宇治	41	0	0	41	41	2	0	4	96.79	0
宇治鳳凰	44	0	0	44	44	0	0	4	97.07	5
小　計	2,336	16	6	2,346	2,326	42	17	平均 3.9	平均 92.37	43

奈良県 （13クラブ）

クラブ名	8月31日会員数	入会	退会	9月末会員数	期首会員数	入会累計	退会累計	例会数	出席率	女性会員数
五條	36	0	0	36	36	0	0	4	79.43	0
平城京	37	0	0	37	37	0	0	4	93.73	0
生駒	38	0	0	38	38	0	0	4	81.34	0
橿原	74	0	0	74	74	0	0	4	83.61	3
あすか	55	0	1	54	55	1	1	4	93.32	0
奈良	145	0	0	145	141	4	0	4	97.23	4
奈良東	45	0	0	45	45	0	0	4	95.97	0
奈良西	49	0	1	48	49	1	1	4	93.25	1
奈良大宮	66	1	0	67	65	2	0	4	91.80	0
王寺	26	0	1	25	26	0	1	4	93.03	2
桜井	50	0	1	49	50	1	1	4	89.84	0
大和郡山	52	0	1	51	51	1	1	4	91.10	0
大和高田	97	0	1	96	98	4	3	4	95.42	2
小　計	770	1	6	765	765	14	8	平均 4	平均 90.70	12

■表作成にあたって

・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
・入退会者数、9月会員数および入退会者累計数は、9月末日現在です。
・今年度の「期首会員数」は、平成20年7月1日現在の会員数です。

福井県 （19クラブ）

クラブ名	8月31日会員数	入会	退会	9月末会員数	期首会員数	入会累計	退会累計	例会数	出席率	女性会員数
福井	128	3	1	130	128	5	3	4	60.11	5
福井あじさい	47	0	1	46	47	0	1	4	82.06	4
福井東	36	0	0	36	36	1	1	4	81.26	3
福井北	120	0	0	120	120	1	1	4	84.98	5
福井南	64	0	0	64	64	0	0	4	81.69	0
福井西	43	0	0	43	42	1	0	4	87.58	0
福井フェニックス	49	0	0	49	49	0	0	4	68.37	10
福井水仙	23	0	0	23	23	0	0	4	69.57	1
勝山	27	0	0	27	27	0	0	4	90.38	2
丸岡	36	0	0	36	34	2	0	4	82.00	0
三国	46	0	0	46	43	3	0	4	84.36	2
大野	25	0	0	25	25	0	0	4	92.39	2
鯖江	50	0	0	50	50	0	0	4	88.73	1
鯖江北	23	0	0	23	23	1	1	4	77.17	0
武生	63	1	0	64	63	1	0	4	79.06	2
武生府中	38	0	1	37	38	0	1	4	92.57	0
敦賀	48	0	0	48	46	2	0	3	82.58	0
敦賀西	23	0	0	23	24	0	1	4	85.87	2
若狭	34	0	0	34	32	2	0	4	100.00	0
小　計	923	4	3	924	914	19	9	平均 3.9	平均 82.67	39

滋賀県 （22クラブ）

クラブ名	8月31日会員数	入会	退会	9月末会員数	期首会員数	入会累計	退会累計	例会数	出席率	女性会員数
びわ湖八幡	50	0	0	50	50	0	0	3	92.60	1
五個荘能登川	22	0	0	22	22	0	0	4	79.23	0
彦根	74	0	0	74	70	5	1	3	93.74	2
彦根南	66	0	0	66	66	1	0	4	95.41	0
湖南	37	0	0	37	37	1	0	4	89.68	1
草津	44	0	0	44	44	0	0	4	87.45	0
水口	48	0	0	48	49	0	1	4	94.71	1
守山	45	0	0	45	44	1	0	4	91.67	0
長浜	60	1	1	60	58	3	1	4	93.95	0
長浜東	66	1	0	67	65	2	0	4	98.80	0
大津	110	4	0	114	110	8	2	4	100.00	1
大津中央	36	0	0	36	35	1	0	4	82.86	2
大津東	25	0	0	25	24	1	0	4	83.20	1
大津唐橋	24	0	0	24	23	1	0	4	80.32	1
大津西	24	1	0	25	24	1	0	4	96.53	0
近江八幡	67	0	0	67	67	0	0	3	95.33	2
栗東	37	0	0	37	36	1	0	4	92.57	3
滋賀湖北	24	3	0	27	23	4	0	4	92.23	1
高島	43	0	1	42	42	1	1	4	100.00	1
野洲	42	0	0	42	37	5	0	4	77.58	1
東近江	56	1	1	56	56	3	3	4	88.57	0
八日市南	56	0	2	54	55	1	2	4	89.55	2
小　計	1056	11	5	1,062	1,037	40	11	平均 3.9	平均 90.73	20

合計 （96クラブ）

クラブ名	8月31日会員数	入会	退会	9月末会員数	期首会員数	入会累計	退会累計	例会数	出席率	女性会員数
合　計	5,085	32	20	5,097	5,042	115	45	平均 3.9	平均 89.85	114

弔慰

謹んでお悔やみ申し上げます

京都RC
岡部　正 様
8月19日ご逝去
91才

高島RC
森　泰翁 様
9月1日ご逝去
83才

Kyoto/Nara/Fukui/Shiga
R.I.D.2650
2008−2009

国際ロータリー第2650地区
2008-2009年度　ガバナー 川端　五兵衛
■ガバナー 事務所
〒523-0892 滋賀県近江八幡市出町413-5
Tel.0748-31-2650 Fax.0748-31-2651
E-mail:gov08-09.2650@joy.ocn.ne.jp